

# かたらんね〜

須恵町のスポーツ団体・文化団体を紹介します。みなさんも一緒にやってみませんか？

## 第12回 岳城太鼓

連載12回目となる今回は、須恵町の伝統芸能である「岳城太鼓」取材しました。

### 「岳城太鼓」とは

平成12年に発足し、須恵町内各区の祭りや第三小学校区の夏祭り、敬老会等で演奏しています。現在、吉松信昭代表のもと、下は8歳から上は77歳まで男性8人、女性3人の11人で頑張っています。毎週火曜日19時～20時まで、アザレアホールで練習していますので、和太鼓に興味のある方は、ぜひご参加下さい。

### 活動状況は

夏祭りや敬老会のほか、町内の老人福祉施設などで奉仕活動を行ったり、町外においても那珂川市、志免町、篠栗町に出向いたりしています。

現在は、コロナ禍で思うような活動はできていませんが、令和2年11月には、須恵第二小学校で、伝統芸能「岳城太鼓」の体験学習を行い、子どもたちが大変喜ばれました。

### 和太鼓を通じて

アザレアホールには大小15種類の和太鼓があり、それぞれの太鼓の音色に合わせてオリジナル曲も手がけています。主なレパートリーは4曲で、現在は「みやけ」という楽曲の練習に励んでいます。「岳城太鼓」の伝統を絶やさないように頑張っていきたいと思います。

### 議会だよりについて

議会の内容が分かり、ためになっている、とのことでした。



ほうり 祝 シゲ江さん

指導者 西村 ユカさん

よしまつ のぶあき 吉松 信昭さん



「対談」や「かたらんね」の取材で多くの人が、「知り合いが増え、一緒に活動できる事が楽しい」と言う。  
（心理学者ジュリアン・ホルト・ランスタッドは、30万人超の調査を基に、社会的な交流やサポートの機会が多いほど、生き延びる可能性が最大50%高くなると論じる。  
進化心理学者ロビン・ダンバーは、「なぜ私たちは友だちをつくるのか」の本で、友人が多いほど病気になるにくく、長生きする可能性が高いと書いている。  
また、ダンバーが英国で約4千人を調査した結果、親しい友達の数に「幸福度と密接に関連していることがわかった」などと述べた記事を新聞で読んだ。  
コロナ禍で活動が制限され、多く人が集う活動や友人との交流も少なくなりました。早く、以前のような生活に戻れる事を願うばかりだ。

今村 桂子

### 編集後記

#### 発行責任者

議長：松山 力弥

#### 広報特別委員会

委員長：田ノ上 真

副委員長：今村 桂子

委員：三角 栄重

委員：稲永 辰己